

ミカサ杯
第44回東京都小学生バレーボール教育大会
東京都大会競技要項

主 催 公益財団法人 東京都バレーボール協会 東京都小学生バレーボール連盟 東京新聞
特別協賛 株式会社 ミカサ
協 賛 東洋水産株式会社 株式会社コントリビュート 株式会社トレス 株式会社プロフォートサニー
主 管 東京都小学生バレーボール連盟ミカサ杯実行委員会

1. 大会の趣旨

- (1) 教育的な配慮のもと、バレーボールを通じて児童の親睦と交流を図る。
- (2) バレーボールを通じ、小学生の体力向上とたくましい意欲の醸成に努める。
- (3) 小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレイを体得し、楽しいゲームができるようにする。

2. 開催期日 令和8年2月22日(日)・3月1日(日)

3. 会 場 2月22日(日)…駒沢屋内球技場(3面・女子)
野村不動産いなぎアリーナ(総合体育館)(4面・男子・女子・混合)
世田谷区立山野小学校(1面・混合)
3月 1日(日)…町田市立総合体育館(6面)

4. 参加資格

- (1) 令和8年1月1日現在、都内及び近隣県の国・公・私立の小学校および各種学校に在籍していて平成30年4月2日以降に生れたこと。
- (2) 令和8年1月1日までに、公益財団法人日本バレーボール協会及び東京都小学生バレーボール連盟に団体登録を済ませていること。
- (3) 令和8年1月1日までにJVA-MRSに個人登録を済ませていること。
- (4) 支部から推薦を受けたチームであること。

5. 競技規則

令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を用いる。

混合チームのユニフォームは、男女で違うユニフォームを着用し、番号が重ならないようにする。ユニフォーム複数枚準備できない場合は、男女で靴下の色を変えるか、男子・女子いずれかが、腕か足首に識別用バンドを装着して、一目で判別できるようにすること。

※ハチマキは、ユニフォームに該当しないため、識別用では不可。ただし、ヘアバンドと同様に個人的につけていても問題はない。

6. 競技方法

- 男 子 16チームによるトーナメント戦 (計16チーム参加)
女 子 36チームによるトーナメント戦 (計36チーム参加)

混 合 16 チームによるトーナメント戦 (計16 チーム参加)

※ 男・女・男女混合とも3位決定戦は行わない。

7. チーム編成

- (1) チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名(内1名以上は成人であること)、選手14名以内とする。
- (2) 東京都大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。
- (3) 選手については、同一団体内で参加資格を満たしているものであれば、支部大会時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一団体であっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中(予選から本大会)は他のチームの構成員として参加することはできない。
- (4) 監督・コーチは成人(18歳以上で選手の引率責任を果たせる者)であること。又、ベンチスタッフの1名以上は日本小学生バレーボール連盟共催の全国小学生バレーボール指導者一次・二次講習会受講者か、公益財団法人日本スポーツ協会認定のスタートコーチ(バレーボール)以上、コーチ1~4のいずれかの資格を持っている者でなければならない。又、試合時にはそれらを証明する証明書等を胸にさげていなければならない。
- (5) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導にあたっていると東京都大会実行委員会が認めた者とする。体罰、暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、子どもを指導する者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
- (6) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、且つ、宣誓書に署名した者に限る。(JVA-MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要)
- (7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチには3分の1以内とする。また、コート上には2名以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。監督は試合時に、今年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。
- (8) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。

8. 審判員 公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員

9. 使用球 円周63.0±1.0cm 重量210±10g (ミカサボール V400W-L)

10. 参加費 1チーム 6,000円

11. 申し込み方法

支部大会の結果、各支部長の推薦を受けたチームは各支部競技担当の指示に従い、メールで申し込みを行う。

12. 表彰

優勝チーム：ミカサ杯・賞状・ウイニングボール

準優勝チーム：ミカサ杯・賞状

3位チーム：第3位盾・賞状

13. 代表者会議ならびに抽選会

- (1) 日 時 令和8年2月9日(月)午後6時30分受付開始
- (2) 会 場 青少年オリンピックセンター 417号室

※代表者会議には、1チーム3名までの参加可（3名の内、1名以上は監督または成人の代表者とする。）

(3) 提出物 大会参加費 6,000円

① 提出物メールで送信（各支部競技委員に予選会中に送る）

- ▶ 参加申込書（エクセルファイル＝都小連HPからダウンロードして使用）
- ▶ JVA-MRSチーム加入選手一覧表
- ▶ チーム写真（2メガまでにする）※必ずプラカードを入れてチーム名がわかるようにする。加えて、顔映りを良くするため背景は明るくしてください。※プログラム代（¥800）カラーになるため
- ▶ 送り先 各支部競技委員

メールの件名に、支部名 チーム名、男・女・混合 ※例）第1支部 東京JVC（女）

② 大会当日に提出

参加申込書にあるオーダー表を切って、当日の最大試合数枚を競技受付に提出すること。また、最終日にも提出すること。

14. その他

- (1) 大会期間中に選手が負傷したとき、スポーツ傷害保険の適用を受けるので、各チームで加入していること。
- (2) 監督が不在の場合、競技委員会へ申し出れば、コーチ及びマネージャーが監督の代理をすることができる。（但し、成人であること）
- (3) 大会参加までに、選手は健康管理を十分に行い、競技出場に支障のないようにすること。
- (4) 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸に着用し、服装は統一されていること。監督は成人であること。又、ベンチスタッフの1名以上は全国小学生バレーボール指導者一次講習会受講者か公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのコーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4（旧日体協の指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ）のいずれかの資格を持っている者でなければならない。
- (5) 各チームは、「ミカサ」のロゴ入りのボールカゴを使用すること。また、持参する練習球もミカサボールにすること。
- (6) 各チームは公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員を帯同すること。
- (7) 男子上位2チーム、女子上位4チーム、混合上位2チームは第46回全日本バレーボール小学生大会東京都大会のシードとする。

15. 本大会に関する問い合わせ先

東京都小学生バレーボール連盟 競技委員長 加藤 勉

e-mail : tsutomu.kato@tokyo-sva.com

携帯電話 : 080-6565-4097